

お盆は祖先との交流

宮司 前原利雄

暑中見舞い

申し上げます

▼鬱陶しい梅雨も明け、連日暑い日が続いております。皆様には益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。

▼比企地域の丘陵に広がる田圃では、既に田植えを終え稲苗が日に日に成長し、さながら緑の絨毯を敷き詰めた情景に変化してきました。

また、各地での夏まつりも、神社関係者をはじめ地元の方々のご協力のもと老若男女問わず和気あいあいと斎行されておりますことに感謝と敬意を申し上げます。しかしながら、近年とりわけコロナ以降祭りの担い手不足や諸経費高騰などに加え、夏の異常なほどの酷暑問題も相俟って伝統ある夏祭りの中止や規模の縮小を決めた地域もあると聞き及んでおります。地域の皆様の創意と工夫を以て夏まつ

りが引き続き盛大に続けられますよう期待してやみません。

▼さて、八月に入りますと祖先をまつる行事「お盆」を迎えます。地域により違いもありますが、十五日を中心に十三日夕方の迎え火に始まり、十六日の送り火に終わります。

一般に盆とは、盂蘭盆の略とされ、祖先を供養し救う仏教行事とされておりますが、盆行事は、我が国に古くからあった祖霊祭の名残とも言えます。正月や春秋の彼岸・お盆などいく度も子孫のもとを訪れます。正月棚や盆棚はその際祖先を迎える場所、神棚や御霊舎(お仏壇)の原型とも考えられています。また、盆踊りは、本来、祖先の霊を慰め送り出すためのもので、あの有名な「阿波踊り」も盆踊りの一つです。

一方、「精霊流し」という祖先送りの行事がありますが、

海沿いの町や村には、祖先は海の方からやってくると思われていたり、場所もあります。古くから日本人は、亡き人の魂はいつまでもこの土地に留まって、愛しい人や子孫とともに生き、その幸せを見守ってくれると信じてきました。※今年のお盆にはご家族皆様お揃いにて、祖先の御霊をお迎えし、祖先との和やかな交流を図ってみたいかががでしょうか。私たちにとって自らの生命の尊さを知り、今に生きていくことの意義を見つめ直す大切な機会にもなると思います。併せて箭弓の大神様のご加護を賜り、皆様のご清福をご社頭よりお祈り申し上げます。



※氏子のしおり 第四七号
年中行事を楽しむ

「家庭のまつり」の
おもしろ雑学」

暑中見舞い
申し上げます

箭弓稲荷神社
宮司 前原利雄

責任役員総代
嶋本正雄

同 野口茂

同 中里昱夫

総代 一同

職員 一同